



提出 令和 7 年 9 月 24 日

一 般 質 問 通 告 書

☐一括方式

☒一問一答方式

質問
順番

3

東海村議会議長 河野 健一様

議席番号 2 番 議員氏名 恵利 いつ

質問事項 (件名)	4 期目をスタートする山田村長の 東海第二原発再稼働問題に対する姿勢は	答弁者 村長
要旨（具体的に） 今回の村長選において山田村長は、「原子力発祥の地としてのプライドを持ち、その役割と責任を果たす」と述べられた。一方で、村長は東海第二原発の再稼働を「必要」とする立場を表明されている。 1) 原子力発祥の地としてのプライドと、再稼働を必要とする認識は、どのように結びついているのか。 2) 役割と責任とは具体的にどのようなことを考え、どのように果たしていく考えか。 3) 「責任」には、任務の遂行責任や説明責任などあるが、仮に原発が再稼働した後、被害が発生し住民避難が求められるような事態になったとき、その結果責任も含まれているのか、考えを伺う。		

質問事項 (件名)	プラスチックごみ再資源化、 「ボトル to ボトル」の推進	答弁者
要旨（具体的に） 村では、平成 12 年に「東海村環境基本条例」を制定、平成 14 年には第 1 次となる「東海村環境基本計画」を策定し、その後、先進地水俣市に学ぶなど積極的に環境政策に取り組んできたこともあり、ごみの減量化や資源化がしっかり行われてきたと認識している。 最近、リサイクル前と後で用途を変えない資源循環の方法として、ペットボトルの水平リサイクル（ペットボトルを再びペットボトルに作り変える）が、自治体や企業、団体などに注目されている。本村の取組状況について伺う。 1) プラスチックごみの再資源化の現状や課題について。 2) ボトル to ボトルの取組に対する考えは。		

氏 名	恵利 いつ	No. 2
-----	-------	-------

質問事項 (件名)	70 周年記念事業は多くの村民が 楽しむことのできる事業となっているか	答弁者
要旨（具体的に） 村発足 70 周年という節目を村民全体でお祝いするとともに、これまで先人たちが築いてきた歴史を振り返り、郷土に誇りと愛着を持ち、将来につながるような記念事業を令和 6 年度から 8 年度にかけて実施していくとして、今年度は記念式典や花火大会などが既に実施された。 1) これまでに行われた記念事業に対する評価は。 2) 今後計画されている事業はどのようなものがあるのか。 3) 「多くの村民が楽しむことのできる事業」とあるが、これまで村を支えてきた高齢者や障がい等でイベントに参加しづらい方々にどのような配慮をしてきたのか伺う。		

質問事項 (件名)		答弁者
要旨（具体的に）		